

広報

なぎじん

No. 87

1983年 2月

村章

(毎月1日発行)



▲新春マラソンに450人が参加

「第5回新春マラソン大会」が、1月2日午後1時から役場前スタート今泊までのコースで行われた。大会には、児童・生徒・一般あわせて450人が参加。それぞれのコースで覇が競われた。(写真=中学校男子のスタート)

今帰仁村の人口(昭和57年12月31日現在)

人口 9,847人 (-39)

() 内は前月比



5,000人(-15)

4,847人(-24)

世帯数 2,774戸(-6)

編集発行：今帰仁村役場総務課秘書広報係
〒905-04 沖縄県今帰仁村字仲宗根219 電話098056-2101
印刷：沖縄高速印刷株式会社
南風原町字兼城577 電話0988-89-5513

十一 十 八・九 七 六 五 四 三 二

今月の主な内容

- 石切り場などを発見
- 今帰仁城跡進む第四次発掘調査
- 村民福祉の向上をめざし
- 予算編成方針を策定
- 一二人が大人の仲間入り
- 華やかに成人式
- 成人おめでとう
- 二〇歳になったら国民年金
- 今帰仁の農業 シリーズ①
- さとうきび
- 村農業を支える基幹作物
- 三六チームが出場
- にぎわった新春ゲートボール大会
- 八・九 古文書への招待
- 薩摩軍の今まじん通過記録①
- 若き後継者たち⑧
- 兄弟で整備工場を営む
- 岸本恵好さん
- 十一 定時制高校の特別募集について

仁跡 今帰城

石切り場などを発見 進む第四次発掘調査

今帰仁城跡の第四次発掘調査は昨年十月二十八日から開始され、十二月十日に完了しました。今回行われたのは、本丸の南側半分の発掘。その中で、城壁の写真測量をするために正門（平郎門）左の城壁外を伐開したところ沖繩のグスクでは初めてという石切り場が検出されました。また、建物、石段など貴重な遺物が発見されています。



▲発掘風景

城壁の周囲で石が取られたことが明らかになりました。沖繩のグスクの石切り場がどこにあったかは、これまでまったく不明だったことで、この今帰仁

跡が検出されました。志慶真門ではすべて掘立柱の小さな建物でしたが、本丸には礎石のある大きな建物があったことが確認されたわけですね。この建物は、一間約二・三メートルの四間×五間のもので、瓦が出土しないことから瓦屋根の建物ではないかということが考えられます。なお、建物すみに炉跡も検出されています。

跡が検出されました。志慶真門ではすべて掘立柱の小さな建物でしたが、本丸には礎石のある大きな建物があったことが確認されたわけですね。この建物は、一間約二・三メートルの四間×五間のもので、瓦が出土しないことから瓦屋根の建物ではないかということが考えられます。なお、建物すみに炉跡も検出されています。

跡が検出されました。志慶真門ではすべて掘立柱の小さな建物でしたが、本丸には礎石のある大きな建物があったことが確認されたわけですね。この建物は、一間約二・三メートルの四間×五間のもので、瓦が出土しないことから瓦屋根の建物ではないかということが考えられます。なお、建物すみに炉跡も検出されています。

遺物

- (1) ガラス小皿 直径約七センチメートル、厚さ二・五ミリメートルの青色の小皿です。ガラス製の器は沖繩では初めての検出であり、全国的にも少ないものです。
(2) 「洪武年造」銘のある青磁菊皿 皿の外底部に「洪武年造」のある青磁菊皿。外底部は白磁釉で、コバルトで記銘されています。



▶石切り場跡



▲建物跡

- (3) 物見台への石段 本丸の東南すみにある物見台へ登る石段が検出され、六段の石段が確認されました。
(4) 仙台通宝 仙台藩でつくられた仙台通宝（鉄銭）が二枚検出。また寛永通宝の鉄銭も検出されました。
(5) スワンクローク窯の合子 タイのスワンクローク窯の合子が検出。志慶真門でも同窯の袋物が検出されています。

跡が検出されました。志慶真門ではすべて掘立柱の小さな建物でしたが、本丸には礎石のある大きな建物があったことが確認されたわけですね。この建物は、一間約二・三メートルの四間×五間のもので、瓦が出土しないことから瓦屋根の建物ではないかということが考えられます。なお、建物すみに炉跡も検出されています。

跡が検出されました。志慶真門ではすべて掘立柱の小さな建物でしたが、本丸には礎石のある大きな建物があったことが確認されたわけですね。この建物は、一間約二・三メートルの四間×五間のもので、瓦が出土しないことから瓦屋根の建物ではないかということが考えられます。なお、建物すみに炉跡も検出されています。

村民福祉の向上をめざし 予算編成方針を策定

昭和五十八年度 予算編成方針

昭和五十八年度の地方財政は、内外の厳しい経済状況の中で地方一般財源の増加が見込まれず、巨額の財源不足が生ずることが予想される。しかも地方財政は昭和五十二年以降累積した地方債・借入金残額を抱え、その償還が今後の地方財政にとって大きな負担となっている。

このような情勢の下における本村の財政運営は、村税・地方交付税等に従来のような大幅な増収は期待できず、一方人件費・扶助費・公債費等の義務的経費は増高し、財政の硬直化の傾向がさらに進むことが予想される。したがって、従来のような経済

村企画財政課では、このほど昭和五十八年度予算編成方針を策定しました。村予算は、福祉や教育、産業など、村民生活と緊密なつながりを持っており、この方針は来年度の村政を決定づける重要な要素を含んでいます。そこで、予算編成方針のあらましを紹介し、皆様のご理解を求めたいと思います。
なお、村ではこの方針に基づき新年度の予算（案）を作成し、三月の定例村議会に提案することになります。

成長を期待することは困難であり、行財政のあり方について一層徹底した見直しを進め、新しい時代への速やかな適応を図るとともに、財政の健全性を保ちつつ村民福祉の着実な向上を図るものとする。

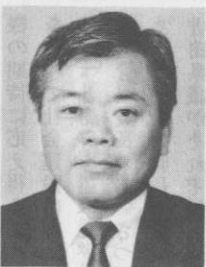
昭和五十八年度においては、基本構想及び村政の主要施策を基本としながら、国の施策の動向及び多様化する村民の要望等を充分検討し、財源の重点的かつ効率的な配分を図るものとする。
以上の基本方針をもとに、次の事項に留意し編成するものとする。
1 村民福祉の向上を図るため、次の事項を重点として策定する

人事異動行われる

企画財政・税務課に新課長



▲企画財政課長 田港朝茂



▲税務課長 上間正雄

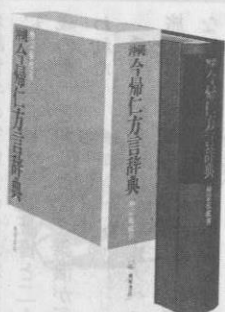
昨年十二月末日、企画財政課長の小那覇安清、税務課長の平田喜直、経済課長務係の玉城喜政の三氏が退職されました。これまで小那覇氏が三十二年、平田氏が二十三年、玉城氏が十五年勤続したもので、三氏ともそれぞれの分野で活躍されました。三氏の退職に伴い、二月一日付けで役場内の人事異動が行われ、企画財政課長に田港朝茂

（経済課農政係長）税務課長に上間正雄（税務課住民税係長）の二人が昇任。また、税務課住民税係長には山城清光（住民課国保係）経済課農政係長には大嶺英恭（経済課農政係）がそれぞれ昇任しました。
なお、退職者に伴う職員の新採用については、村の職員採用試験に合格した方の中から選ばれることになっています。

仲宗根政善著

沖今帰仁方言辞典発刊

本村字与那嶺出身で琉球大学名誉教授の仲宗根政善氏著「沖繩今帰仁方言辞典」が角川書店より、この三月刊行されます。本書は村の方言を採録したもので、一般語はもとより複合語、派生語、擬態・擬音語、動植物名、地名、童名、屋号なども含んでいます。
菊判／横二段組／八百頁／上製函入りで定価は二万五千円。



126人が 大人の仲間入り 華やかに成人式



大人になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする若者を祝い励まそう——という「昭和五十八年成人式」が、一月十五日午後二時から役場ホールで行われた。今年成人を迎えたのは、昭和三十七・三十八年生まれの若者で、村内では男七四人、女五二人、計一二六人が対象者。なお、県内では一万四、三〇〇人。全国では一五九万人となっている。

当日は好天に恵まれたこともあって、振り袖姿や新調のスーツ姿の若者一〇二人が早々と入場。華やいだ雰圍気をかもし出していった。式は村歌斉唱で開会し、始めに式辞を述べた松田村長は「成人を迎えたことは、一人前の社会人として権利を与えられたことだが、同時に責任と自覚を求められることになる。これからの人生を無駄におくることのないよう自信と希望を抱いて活躍してほしい」と



無災害を祈念して 消防でぞめ式行われる

年頭恒例の「消防でぞめ式」が、一月六日午前七時より村営グラウンドで行われた。これは一年間の無火災、無災害を祈念し毎年行われているもの。朝もやに響くサイレンの音を合図に、分遣所職員十四名、消防団員三十五人が勢揃い。始めに内間助役、池原収入役らによる服装・機具点検が行われ、次いでポンプ車操法・応用操法・五色操法など職員や団員の訓練の成果が披露された(写真)。特に村消防団は、毎年県操法大会で上位入賞を果たしており、機敏な動作で来賓の拍手をあびた。また式の中で、永年村消防団の発展に貢献してきた副団長の仲里生男、団員の土地正、与那森男の三氏が県消防協会より表彰さ



れた。昨年一年間の火災発生件数は十五件で、前年に比べ四件の増。また救急出動件数は二二三件で前年に比べ十九件の減となった。

様の期待に応え得るよう、誠意を持って社会建設に努めていきたい」と謝辞を述べた。また新選管委員長のあいさつ、来賓として大城教育長、玉城議長、吉田県議がそれぞれあいさつした。その後、アトラクションとして、松田イチコさんの腹話術、今泊青年会の棒術が披露。また、

名護青年の家所長の仲地清雄氏による「一枚の卒業証書と二十歳の愛」と題した記念講演が行われた。希望と期待に満ちた大人への旅立ち。苦難を乗り越え、立派な社会人として大きく翔いてほしいものだ。写真上代表して謝辞を述べる 運天伊都子さん

いる。このように救急出動件数では減少したものの、火災発生は年々増加傾向をみせている。今月二十八日から来月の十三日まで春の全国火災予防週間。この時期は特に火災が多いといわれる。火の元には充分注意したいもの。



▶表彰された左から仲里・与那土地の各氏

成人おめでとう

二〇歳になったら国民年金

成人おめでとうございます。二〇歳のあなたに、力強いパートナー国民年金からのお知らせです。

◎日本は世界の最長寿命

わたしたちは、世界でいちばん長生きできる国に住んでいます。男性七三・七九才、女性七九・一三才——これが先頃発表されたわたしたちの平均寿命です。長生きできる分だけ人生を謳歌できるのは、とても素晴らしいことです。

しかし、わたしたちは誰もが年をとり、「老令時代」を迎えます。その間にも病気や事故により死亡したり、身体の障害者にならないとは誰も否定できません。しかも、日本では、ヨーロッパ諸国の二・五倍のスピードで高令者が増えています。

個人だけの貯蓄や健康管理だけでは限界があります。それをカバーしてより充実した人生を送ってもらうために、国民年金

をはじめとした年金制度があなたの将来の大きな支えとなることとしましょう。

◎誰でも必ず年金加入

わたしたちは、必ず年金制度



に加入しなければなりません。どれに加入するかは職業によって分けられています。

会社や工場のサラリーマンなどは厚生年金、公務員、先生、農協職員などは共済組合、船員は船員保険、それら以外の人は国民年金に加入しなければなりません。

◎国民年金に加入する人

国内に住む二〇才〜五九才の人で、「必ず加入しなければならない人」と「希望で加入する人」のケースがあります。

「必ず加入しなければならない人」は 農林漁業、商工業、医師、弁護士などの自営業や自由業の人で、厚生年金や共済組合、船員保険等に加入していない人。 又従業員が五人未満の会社に勤務する人です。

「希望で加入する人」は厚生年金や共済組合、船員保険などの年金加入者の配偶者、年金や恩給を受けることができる人とその配偶者、国会議員や市町村議会の議員とその配偶者、昼間部の大学生です。

◎国も応援しています

国民年金は、「老後の年金」のほかに、「身体障害者になった

ときの年金」、「死亡したときの年金」、「残された遺族のための年金」を支給して生活の安定を図ることを目的としています。管理、運営には国が責任をもつてあたり、みなさんの保険料のほかに、国は年金額の三分の一と年金事業に必要な費用をバックアップしています。

◎毎月の保険料は

保険料は五二二〇円(五八年四月から五八三〇円)で将来少しでも多くの年金をもらいたい人のために、付加保険料として別に四〇〇円負担する方法もあります。逆に生活が苦しくて支払えないときは、保険料の免除のしくみがあります。

この毎月の保険料支払いは決して楽ではありませんが、国民の誰もがどれかの年金の保険料を支払っていますし、将来、年金を手にしたときに改めて、加入していた喜びがこみあげてくることとしましょう。

◎加入手続きは村役場年金係で

加入手続や、他の年金に加入したときのそう失届などは本人が村役場年金係に届出ることになっていきます。くわしいことは村役場年金係まで。

第三回

庭球選手権大会

二月十三日

北山高校で

村体協では、来る二月十三日(日)午前九時より北山高校において「第三回軟式庭球選手権」を開催します。(雨天の場合は湧川小学校体育館)

大会は、庭球の底辺拡大と技術の向上、並びに村民の親睦を図る目的で行われるもの。資格は、村民と村内に職場を有する方(高校生チームは村出身を一人含む)で、競技は個人戦ダブルスとなっています。

メ切は、大会当日の午前八時三十分まで、体協事務局(役場税務課)諸喜田展生、電話二一〇一、二一〇二でも可へお申し込みください。

また、大会終了後村軟式庭球愛好会を結成しますので、あわせて多数の参加を期待します。



今帰仁の農業 シリーズ①

さとうきび

村農業を支える基幹作物

「五十五年国調から」のシリーズ終了に伴い、今月号から「今帰仁の農業」と題して、村で栽培されている作物をそれぞれの品目別に紹介したいと思います。

農業は、過去・現在においても村の基幹産業であり、さらに将来にわたってますます重要になってくることは言うまでもありません。また、村の農業はさとうきびを中心に、葉タバコ、畜産、スイカ、野菜、パイン、花き園芸と、他に類をみないほど多彩な営農形態をみせています。

これらのひとつひとつを、歴史、現状から分析し、将来に向けての示唆にしよう——というのがこのシリーズのねらいです。読んでいただいた皆様のいろいろな意見をいただければ幸いです。

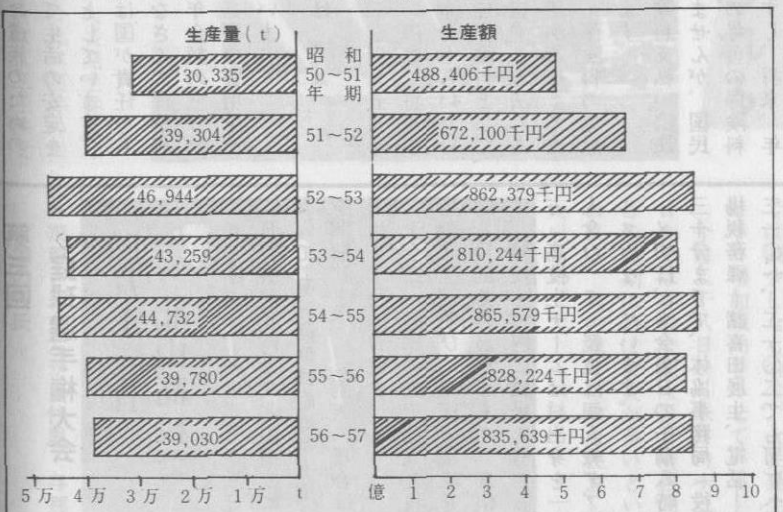
四一六五年期においては、面積九二二ヘクタール、生産量七五二七トロン、反収八・二トロンと戦前戦後を通じて最高の出来高を記録している。

しかし、原料価格の低迷、経済成長、労働力の減少、復帰から海洋博前後の異常な土地買い占め、農業資材等の物価の上昇、労賃の高騰等のいろいろな原因が重って、農業者の生産意欲を低下させた。その結果、一九七五年一七六年期においては、面積三八四ヘクタール、生産量二八、四七五トロン、反収七・四トロンと大幅に落ち込んだ。

その後は、農業の見直し、ユーターンによる農業者の増加等、農業をとりまく情勢の好転により生産意欲が高まり、昭和五十二一五三年期には、面積五七〇ヘクタール、生産量四七、〇〇〇トロン、反収八・二トロンが生産された。それ以後はほぼ横ばいの状態が続いたが、五十五年一五十七年期においては、台風かんばつの影響で生産量が三九、〇〇〇トロンに減少してきた。

さとうきび生産の課題をいくつかあげると、①兼業化の進行により株出しが増加し、根切り中耕・施肥等の肥培管理が行わず粗放化が進み、反収が減少している。②基盤整備の遅れから、生長期にしばしばかんばつに見舞われる。③台風や病害虫の発生等により反収の低下がみられる。④五十%以上の比重を占める収穫作業の軽減、肥培管理の機械化の推進。

（経済課農政係）



村のさとうきび生産の推移

三十八チームが出場 にぎわった新春ゲートボール大会

村老人クラブ連合会並びに村ゲートボール協会共催による「第三回新春ゲートボール大会」が、一月七日(金)と十一日(火)の両日開催されました。大会はゲートボール人口の拡大と村民の融和を図ろうというもので、大会には、五人一組の三十九チームが出場。七日の子選は村営グラウンドで行われ、熱戦の結果上位五チームが決勝戦に進

▼各チームとも熱心に(決勝戦から)



天底幼稚園に ピアノのプレゼント

村立天底幼稚園(運天政宏園長、園児三五人)に、ピアノがプレゼントされ、園児たちを喜ばせている。寄贈したのは、今帰仁建設社長の宮城康吉さん(字天底五一)。贈呈式は一月二十二日行われ、でっかい贈り物に園児たちもニコニコ顔。さっそく担任の玉城勝子先生にピアノを弾いてもらい全員で合唱した。

故真栄田義永先生追悼会について 故真栄田義永先生追悼会發起人会(島袋喜厚代表)では「故真栄田義永先生追悼会」を次のとおり行います。日時一二月二十日(日) 午後二時一三時三十分 場所一天底小学校体育館 会費一千元 真栄田先生は上運天出身で、昭和四十七年退職されるまで今帰仁中・羽地小・天底小の校長

松田ひろし氏に 医学博士の学位

字仲宗根出身の松田ひろし氏(松田精賢氏長男)が、昨年十二月博士論文にパスし、医学博士の学位を授与されました。松田氏の主論文は「てんかんにおける精神分裂症様症状について」で、昨年八月ロンドンで開催された国際精神医学総会で研究発表を行いました。氏は昭和二十三年十二月十日生まれの三十四歳で、現在東京医大病院精神神経科医局長。同大学病院の一番若い医局長として、後輩医師の指導に当たっています。



▲松田ひろし氏

松田氏の経歴 ○昭和五十年三月一東京医科大学卒業。五月一医師国家試験合格。同大学精神神経科助手。○昭和五十五年四月一ロンドン大学精神科病院へ公費留学。○昭和五十六年八月一帰国。○昭和五十七年四月一東京医大病院精神神経科医局長。○昭和五十七年十二月一医学博士の学位授与。○現住所一東京都杉並区上高井戸五一一二一三。○美智代夫人との間に二女。

古文書への招待

薩摩軍の今きじん通過記録 ①

はじめの一「なぜ」

わたしたちの村には、さまざま昔ばなしがあります。たとえば、慶長十四年の薩摩軍による琉球侵入にまつわることに限っても、運天に薩摩軍が上陸した際、激戦で多数の死者がでた。現在、運天の断崖横穴に累々たる白骨が収められているが、それは薩摩軍のものである。地元民にも鉄砲による死者があり、棒の先から火が出てというのはそのときのことだ。また、薩摩軍の足を滑らせるために、粟粥を煮て坂に流したので、そこをウケーメーピラという等々々。

はじめの二「では」

現在、今帰仁城跡の発掘調査および修復保存事業が着々と進められています。わたしは以前より、城跡からの出土遺物による史的裏付と併行して、文献資料による時代背景究明の重要性を考えていました。残念ながらそのような資料は村には皆無です。それなら外に求めるしかありません。

はじめの三「かくて」

わたしたちは空港から鹿児島県維新史料編さん所を訪ねました。そこで膨大な古文書コピーの中から「薩藩旧記雑録」に出会いました。例の玉里公爵家所蔵本そのもので、つまり那覇市史の原本の原本です。翌日、幸運にも鹿児島県立図書館では、昭和三年写本の原本もみつかりました。

「旧記雑録」は現在、鹿児島県明治維新百年記念事業の一環として、現代活字に改め、読み下しを入れて出版する作業が進められていて、部外へ出すのは

困難とのことでしたが、懇請の末、特別の配慮で翌日コピーをとらせていただきました。これからの予告 さて、「旧記雑録」を拾い読みしてみると、市来孫兵衛文書だけでなく、関連資料は四十ページ近くを占めています。「旧記雑録」は、薩摩二十七代藩主島津斉興（在位1707-1708）が藩内の公私に分散所蔵された文書類を藩事業として収集編さんさせた成果です。次ページにみられるように、整った筆跡ですが反面画的、真筆のもつ個性や面白さはないものの、読み易くはあります。内容・表現等はなお原型を保っていると考えられます。

今後、この紙面で何回かに巨り、次の三種を紹介の予定です。「琉球渡海之軍衆法度之條々」 「覚」 「琉球渡海日々記」 ところで、現在わたしたちが慶長の役、薩摩入り、琉球入り、薩摩侵入（攻）、琉球征伐など、さまざまにいう、あの歴史的事件を、当時の薩摩では「琉球渡海」といったようです。ついでながら「琉球征伐」なる語は、後世（江戸中期以降）薩摩側に立った講談本による流布のせい

琉球侵入準備の文書

旧記雑録の順序に従い、今回は「琉球渡海之軍衆法度之條々」を取扱います。ここでは薩摩軍がどんな心構えて渡海に臨んだか、というより、藩主がその軍事行動にどんな態度を求めたかを読みとるべきでしょう。なぜなら、軍隊とはどんな大義名分を掲げても、本質は殺人集団であって、末端にいくほど、戦闘現場が否かを問わず、自軍以外に対しては敵対行為は増幅され従っていかに完璧な軍律法文も空文（タテマエ）化に終ることは、沖繩戦やウエトナム戦争でも証明済みです。そのことを念頭において條項を読んでみます。

一、指揮系統を乱さない。二、喧嘩口論禁止は新しい事ではないがこの度は特別に厳格に。もし喧嘩になっても個人的な結着は許さず上司に報告、背けば理由・是非の如何を問わず両成敗。三、鉄砲の取扱については具体的に説明（対象が足軽だから）。四、船の進退は総て統一行動。五、自分勝手に隊を変るな。六、投降した島々の農民に乱暴するな。敵地だけでなく薩摩領内の港々でも同様。七、堂・宮・寺を荒らすな。八、戦闘態

あるべき事。一、其の組を離れ、他の手に付くまじき事。二、手に入たる島々の百姓等において、少しも狼藉いたすまじき事。大島より此方、泊々に付きても右同前たるべき事。一、堂・宮・寺等あらすまじき事。一、相働くべき時、海陸共に惣人数を待合せず、人衆無しにて先懸けいたすまじき事。一、経、その外、書籍等むざととりちらすまじき事。一、罪無き者の殺害、一切停止たるべき事。一、順風よく見定めず出船致すべからざる事。一、取人一切停止たるべき事。一、下知衆申すべき旨を相背くべからざる事。右の條々、堅く相守り、違背すべからざる者也。仍て法度件の如し。 慶長十四年二月廿六日 家久 惟新 龍伯

註①大城立裕著「沖繩歴史散歩」（昭五五年）六六頁参照。 ②物主のものぬし。武主とも書く。軍陣での部隊の長。 村文化財保存調査委員 村上 仁 賢

在官庫

琉球渡海之軍衆法度之條々

- 一、物主相定作留先以法合可申出儀不可違背事可也
- 一、喧嘩口論之儀、新しからざる法度たりと雖も、今度は別して、おのおの相嗜むべきこと肝要とすべし。たとい因らざる喧嘩出来候とも、兼て法度の如く、私にて相果たさず、重ねて披露を遂ぐべし。もしこの旨を相背き破ることにおいては、いかやうの理これありと雖も、理非の沙汰に及ばず、一組罪科に処すべき事。
- 一、鉄砲もちたる衆、あるいはしし・鳥をねらひ、あるいはたて物を射、いたづらに玉薬をつくすまじき事。
- 一、船の出入り、おもひ／＼にこれなき様に、惣別同前にこれ

家久 惟新 龍伯

琉球侵入準備の文書

旧記雑録の順序に従い、今回は「琉球渡海之軍衆法度之條々」を取扱います。ここでは薩摩軍がどんな心構えて渡海に臨んだか、というより、藩主がその軍事行動にどんな態度を求めたかを読みとるべきでしょう。なぜなら、軍隊とはどんな大義名分を掲げても、本質は殺人集団であって、末端にいくほど、戦闘現場が否かを問わず、自軍以外に対しては敵対行為は増幅され従っていかに完璧な軍律法文も空文（タテマエ）化に終ることは、沖繩戦やウエトナム戦争でも証明済みです。そのことを念頭において條項を読んでみます。

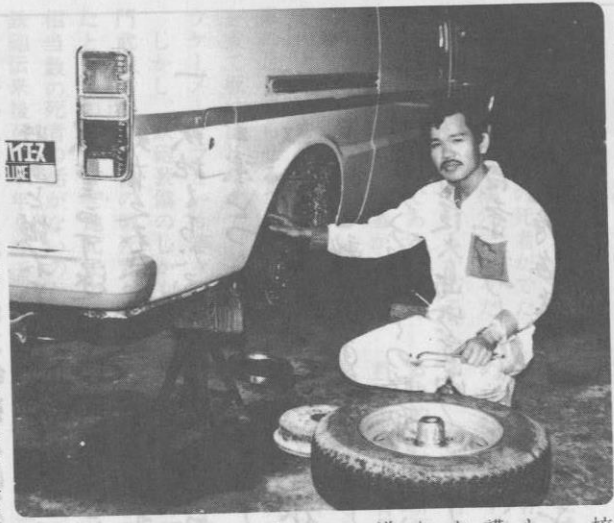
一、指揮系統を乱さない。二、喧嘩口論禁止は新しい事ではないがこの度は特別に厳格に。もし喧嘩になっても個人的な結着は許さず上司に報告、背けば理由・是非の如何を問わず両成敗。三、鉄砲の取扱については具体的に説明（対象が足軽だから）。四、船の進退は総て統一行動。五、自分勝手に隊を変るな。六、投降した島々の農民に乱暴するな。敵地だけでなく薩摩領内の港々でも同様。七、堂・宮・寺を荒らすな。八、戦闘態

あるべき事。一、其の組を離れ、他の手に付くまじき事。二、手に入たる島々の百姓等において、少しも狼藉いたすまじき事。大島より此方、泊々に付きても右同前たるべき事。一、堂・宮・寺等あらすまじき事。一、相働くべき時、海陸共に惣人数を待合せず、人衆無しにて先懸けいたすまじき事。一、経、その外、書籍等むざととりちらすまじき事。一、罪無き者の殺害、一切停止たるべき事。一、順風よく見定めず出船致すべからざる事。一、取人一切停止たるべき事。一、下知衆申すべき旨を相背くべからざる事。右の條々、堅く相守り、違背すべからざる者也。仍て法度件の如し。 慶長十四年二月廿六日 家久 惟新 龍伯

註①大城立裕著「沖繩歴史散歩」（昭五五年）六六頁参照。 ②物主のものぬし。武主とも書く。軍陣での部隊の長。 村文化財保存調査委員 村上 仁 賢

若き後継者たち

兄弟で整備工場を営む 岸本好功さん



今回は、兄の通徳さんと共に岸本自動車整備工場を経営する若き活動家、岸本好功さん(字) 岸本好功(七〇六)の登場。

好功さんは、昭和二十六年生

恵蔵さんの影響とか。修理工場経営の父親を見るうち、自然に機械に親しむようになった。学校も名護高校機械科、クラブも機械部と、機械一筋のうちに同校を卒業した。

その好功さん、若い時は名護市でロックハウスを経営するなど、全く別の道を歩み出したことがある。かたわら、得意のドラムで一時はプロミュージシャンをめざしたことも。その夢も家業を継ぐため断念した。

今の事業には八年前から従事。五年前には新工場を建設し、旧工場で板金、新工場で車検整備というシステムをとっている。さらに昨年から中古車販売も始めた。仕事柄、十時までの残業

もさら。また、月末・年末には金銭のやりくりに追われるなど、経営者としての厳しい一面もある。それでも、兄弟を始め、従業員十一人の平均年齢が二十六歳というっており、職場は若さと活気に満ちあふれている。

「将来は中古車販売の充実、来年をめぐにした民間車検場の認可、板金工場を充実させることが目標」という好功さん。特

同種の整備工場が村内には七軒。需要関係で、村人口が年々減少していくのが懸念される。現在でも同工場では四〇%の需要を村外に頼っており、人口増加と働く職場づくりを、と好功さんは訴える。

余暇は趣味のドラムをいかし、名護高校バンド部のB十五人で結成する「赤いばら」の一員として、週二回の練習、年二回の定演、さらにグンズパーティなど諸々の演奏会に大忙し。また商工会青年部としても活躍中だ。バイタリティあふれる好功さんの今後の飛躍を期待したい。

写真＝仕事、趣味、地域活動と忙しい岸本さん

定時制高校の特別募集について

県立高等学校 入学者選抜において、昭和五十七年度から「特別募集」の制度が設けられました。この制度は、勤労青少年に高等学校教育の機会に積極的に与えるとともに、定通制教育をその本来の主旨にそつようにすることをねらうものです。多くの勤労青少年が、この機会を十分に活用することを期待します。(高等学校定時制課程においては、志願者が募集定員に満たない場合、学校長は県教育委員会の承認を得て特別募集をすることができると)

一、出願資格及び手続き

①出願できるのは、勤労者等満二十歳(今年三月三十一日現在)以上の方

②出願期間は、二月二十三日(水)から二月二十八日(月)まで。

③受付時間は午後二時から午後八時まで。ただし受付の最終日は午後三時まで。

④志願者は、入学志願書、出身中学校からの調査書、入学者料八百円及び志願先高等学校長が必要と認める書類を

ご協力ありがとうございました 村社会福祉協議会への寄附・寄贈

○赤い羽根共同募金			
戸別募金	950,400	法人大口募金	43,000
児童空缶募金	109,307	法人大口募金	15,000
職域募金	316,000	その他、カンパ等	57,727
個人大口募金	140,080	計	1,631,514円
○歳末助合募金			
商工空缶	31,011	その他	31,000
商工空缶	13,000	計	75,011円
○歳末助合物品配布について			
対象世帯	40世帯	詰	58缶
石ケ	34箱	だも	14缶
ラ	180コ	ポー	12缶
米	6袋	ポー	10缶
タン	12枚	お	計
毛	8枚	計	334個
○個人の寄附			
字仲宗根403の金城美津さんより、夫秀雄さんの香典返しとして3万円の寄附			
字仲宗根250の村田美智代さんより、拾得金の期限切れで1万円の寄附			



▲諸志区長 内間正勝

諸志・与那嶺の区長がわかる

今年一月一日付けで、字諸志と与那嶺の区長がかわりました。

字諸志では大城清順さんから内間正勝さんへ、また字与那嶺では親川悟さんから仲宗根恒仁さんへそれぞれ交替しました。

長い間がんばってこられた大城さん、親川さんご苦労様



▲与那嶺区長 仲宗根恒仁

今帰仁歯科診療所に新しく歯科医

昨年六月開所した今帰仁歯科診療所に、新しく歯科医師の劉坎興先生が加わりました。今後李裕源先生と二人で診療にあたることとなります。

同診療所には、他に看護婦三人、技師一人、事務員二人、炊事婦一人の職員がおり、診療時間は月曜日から金曜日までは午前九時～午後六時(十二時～二時まで休診)。土曜日は九時から十二時までで、日曜日・祝祭日は休診となっています。

所得税の確定申告は 正しく・お早めに

昭和五十七年分の所得税の確定申告は、二月十六日から受付が始まります。申告期限は三月十五日ですが、期限間近になりますと税務署は大変混雑し、落ちついて相談できなかつたり、長時間お待ちいただくようなことになりかねません。確定申告はできるだけ早く行うようにしてください。

確定申告をしなければならぬ人が申告しなかつたり、正しくない申告をしたりしますと、後で不足の税金を納めるだけでなく、無申告加算税又は過少申告加算税が課され、その上、延滞税も納めなければなりません。不正な行為があつた場合には、



申告済ませて明るい我が家

村立保育所 入所申込について

村立の4保育所では、下記のとおり入所希望者を受け付けています。期限は2月末日までとなっていますので、希望者はお早めに役場厚生課へお申込ください。

今帰仁保育所	26名
仲尾次保育所	24名
中央保育所	22名
仲宗根保育所	18名

交通事故巡回相談のご利用を

県では、交通事故被災者からの相談及び各機関へあつせんする「交通事故巡回相談」を各市町村において実施しています。本村においても、次の日程で行われますので、お気軽に会場におこしください。

日時：二月二十五日、午前十時から午後三時

場所：村役場ホール 相談員：下地寛廣氏

村に初の民間車検場

村内では第一号として、徳山自動車整備工場が「民間車検場」の指定を受け、五十七年四月一日より車検事務を開始しています。従来は、車検の際那覇の陸運課車検場へ行かねばならず、三、四日の日数と経済負担を余儀なくされてきました。これにより一日で車検を済ませることができ、人件費や燃費の軽減につながる、と同工場では話しています。

なお村内には一民間車検場と六認証整備工場がありますが、過去においては村内二千台余の車両に対し六割弱の千二百台しか消化できませんでした。今後は「確かなサービスで充分対応できるのでご利用を」と、村内整備工場では語っていました。

なきじん版

2月1日～3月4日

村民カレンダー



2/1 火	○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)	17 木	○精神ディケア (13:00、中央公民館) ○健康体操 (20:00、謝名公民館)
2 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)	18 金	
3 木	○子宮ガン検診自己採取法説明会 (19:30～) ○健康体操 (20:00、謝名公民館)	19 土	○健康相談 (8:30～12:00、保健婦室) ○子ども会発表会 (14:00、中央公民館)
4 金		20 日	○ホッケー教室 (10:00、村営グラウンド) ○故真栄田義永先生追悼会 (14:00～15:30、天底小学校体育館)
5 土	○ホッケー競技審判及び競技方法等講習会 (14:00、中央公民館)	21 月	○区長会 (14:00、役場ホール) ○納税相談 (10:00、本部町会館ホール)
6 日	○ホッケー競技審判及び競技方法等講習会 (9:00、村営グラウンド)	22 火	○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)
7 月	○三歳児健診 (13:00～、役場ホール) ○区長会 (14:00、役場ホール舞台裏の研修室)	23 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館) ○体育指導委員会 (18:00、中央公民館)
8 火	○健康体操 (20:00、仲宗根公民館) ○ちぎり絵教室 (17:00、中央公民館)	24 木	○健康体操 (20:00、謝名公民館)
9 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)	25 金	○交通事故巡回相談 (10:00～、役場ホール) ○1歳半健診 (13:00、役場ホール) ○農業委員会定例会 (10:00、役場ホール研修室)
10 木	○人権相談 (10:00、中央公民館)	26 土	○子豚セリ市 (13:00、家畜セリ市) ○ホッケー教室 (14:00、村営グラウンド) ○健康相談 (8:30～12:00、保健婦室)
11 金	○建国記念日	27 日	○少女バスケット大会 (9:30、湧川小中体育館)
12 土	○健康相談 (8:30～12:00、保健婦室) ○ホッケー教室 (15:00、村営グラウンド)	28 月	○固定資産税第4期、国民健康保険税 第6期、国民年金保険料第6期の納期
13 日	○第3回庭球選手権大会 (9:00、北山高校)	3/1 火	○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)
14 月	○乳幼児学級 (14:00、中央公民館)	2 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
15 火	○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)	3 木	○健康体操 (20:00、謝名公民館)
16 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)	4 金	

■ 暖冬といわれたのもつかの間、一月下旬から冷たい日が続く。それでも沖縄ではもう桜の季節。可憐なピンクの花びらが夢の世界へと導いてくれる。本土では梅が咲いて桜が咲き、沖縄では桜が咲いて梅が咲く。日本列島所変われば品変わるの感あり。

■ 年々豪華になる成人式。普段着での参加を——と主催側が呼びかけたのも数年前まで。効果なしとどこの市町村でもあきらめ顔。不況どこ吹く風の華やかな光景だが、晴れ着一着数十万円と聞けば何とも複雑な気持ちになる。いずれにしても、あてやかな着物姿はいいもの?ではある。

■ 今月号から、「今帰仁の農業」と「古文書への招待」の二つのシリーズを企画した。郷土今帰仁を知る手がかりになれば幸いである。執筆者の方々の今後の協力と奮闘を期待したいところ。

■ 一月は行く。二月は逃げる。三月は去るといふ。さて、今月が逃げないよう地道に歩みたい。

編集後記

